

「湯田温泉周辺地区」都市再生整備計画 事後評価委員会
議事録

日時：令和7年12月18日（木） 15：30～17：00

場所：山口市役所 101会議室

出席者

委員： 4名（委員A～Dと表記）

事務局： 4名

計8名

議事 1. 「湯田温泉周辺地区」都市再生整備計画の事後評価

協議（質疑）内容	
(委員C)	<p>指標1のこんこんパークに関しては、イベントも定期的に開催されており、地域の皆様が集まり賑わいが創出されていると感じている。さらに観光客も取り込んでいくことで、今後さらなる回遊がうまれてくると感じている。指標2の温泉街の通行量については、タナカホテルの閉店の影響が大きいと感じている。ただ、宿泊客数もコロナ前の数値に戻ってきており、まち全体としての通行量については、あまり減少しているという印象はない。今後、タナカホテル跡地や翠山荘跡地を活用することで、さらに宿泊客数の増加を期待している。</p> <p>指標3のまちなみなどの景観に対する満足度について、JTBが実施したアンケート結果においても湯田温泉は、県内観光地における景観や、歩きやすさの評価値が高いという結果が出ている。</p>
(委員D)	<p>確かにこんこんパークができて以来、イベントを含めて利用者が爆増し、1年を通して10万人という目標を達成しており、これは非常に喜ばしいことで、平日の午前中においても、頻繁に幼稚園や保育園の子達が来て遊んでいるという状況である。</p> <p>一方で、今後の課題としては、こんこんパークの利用者を含め、県道筋まで人の流れが出ていくかどうか少し疑問に思っている。ハード面の整備以外の飲食関係を含め、いわゆる地域活性化のため、一歩二歩踏み込んだ対応が必要ではないかと考える。</p> <p>もう1点は、上東湯田温泉五丁目線道路工事に関して今後の進捗や事業完成の見通しはどうか。</p>
(事務局)	<p>⇒ 地域活性化について、ソフト面も含めた対策が重要であると認識しており、次期計画においても回遊性を高めていきたい。</p> <p>⇒ 上東湯田温泉五丁目線道路工事について、今回の計画では、5年間という限られた期間の中で、できるところまで事業を進めてきた。引き続き事業を継続していくとともに、この事業を次期計画の中に位置づけ、整備を進めていくことが重要と考えている。区間も長く、課題も多いことから長期的なスパンで事業を進めていきたいと考えている。</p>
(委員A)	<p>こんこんパークの利用者数は、当初目標の10万人に対して、3ヶ月で7万5千人、4ヶ月で10万人を達成している。もちろん事業者の色々な努力もあると思うが、20万人ぐらいの目標にしておいても良かったのかもしれない。</p>

- (事務局) ⇨ 結果論で言えば、もう少し高い目標でも良かったと思う。我々も現地の様子を見に行ったが、屋根付きの広場で暑い夏の時期を跨いだこともあり、特に夏の稼働が想定より多かったと思う。また、学生さんがワークショップを開催され、連日多くの子供たちが出入りしていたり、平日のどの時間帯に行っても多いなという感想を受けた。
- (委員B) 情報共有として、昨日、こんこんパーク前の横断歩道で小学生がはねられるという事故があった。そのため、子供が安全に過ごせるよう、早急に周辺を整備していただきたいと思う。
- (委員A) 安全性の確保は、重要な課題である。お子様が安心して使える施設を目指すということで、なるべく早く整備を進めていくことをお願いしたい。
- (委員A) 景観に関する満足度の指標を達成しているが、どのように回答してもらったのか。
- (事務局) ⇨ 市のまちづくりアンケートの中で、市内全域を対象に、「山口市の景観はどうですか？」という質問に対する回答である。特定の地域を想定して景観を問うたものではないが、湯田地区にお住まいの方だけを抽出し集計したので、湯田地区にお住まいの方が身近な景観をイメージし回答されたと思う。

議事 2. 今後のまちづくり方策

協議（質疑）内容	
(委員B)	引き続きの要望になるが、上東湯田温泉五丁目線について、小学生の通学路ということもあるため、子供たちが安心安全に通学することができ、車も安全に通行できるような道路にしていきたいと思う。
(事務局)	⇒ 次期計画の中でも整備を予定しており都市計画道路泉町平川線と一本松朝倉線を結ぶ、重要な道路であるため、計画どおり整備できるよう、できるところから事業を進めていきたいと考えている。 引き続き、地元の方にもご協力いただければ、事業も円滑に進むと思うのでため、よろしく願いたい。
(委員C)	1点目は、都市型の温泉街ということもあり、視覚的に温泉情緒を感じにくいいため、足湯などの温泉情緒を感じる施設を回遊できるような仕掛けが必要だと思う。 2点目は、インバウンド客に向けた看板も必要だと感じている。
(事務局)	⇒ 都市整備部だけではなくて、観光局部とも連携して次期計画に向けた調整をしており、そういった案内サインや回遊性を高める仕掛けづくりについても計画していこうと思っている。
(委員D)	市道の拡幅等の道路整備について、全線を同時に整備開発することは難しいと思うが、両脇の交差点から始める等、了解が得られたところから進めていくということになるか。
(事務局)	⇒ まだどちら側から進めていくかは決まっておらず、まずは現地測量作業から進め、ある程度事業の同意がまとまって得られた箇所から進めていくことになると思う。
(委員A)	こんこんパークが想定以上に集客力があり、その前面道路の負担や安全性など、いろんな意味で早急に改善・改良して行かなければならないということ、もう少し踏み込んで特記できればよいと思う。
(事務局)	⇒ いただいたご意見を踏まえ、再度、考察させていただく。